

Mie こどもエコフェアへの出展

作成 清水 環 2010 年 7 月 24 日(土)

1. 開催場所 : 三重県環境学習情報センター
2. 開催日 : 2010 年 7 月 17 日(土)・18 日(日) 10:00~15:00
3. 参加者 : 【17 日】森林の風…大石、水野、清水 森倶楽部…筒井さん、山下さん、もう一方
【18 日】森林の風…辻、板垣、水野、清水 森倶楽部…伊藤さん、もうひと方
小坂さん、高木さんファミリー、板垣さんファミリーも来場
4. 内容

準備段階での予定

土日ともに、10:20 11:20 13:20 14:20 の 4 回各 40 分間で、「森林講座と道具の体験」を予定していました。呼び込みや宣伝はしないで自主性にまかせようということでした。

第 1 段階。スギ、ヒノキ、ヤマザクラ、エノキなどの切り株を並べて、それらを観察したり見比べたりして木の生長やその過程を学ぶ。第 2 段階。森道具の体験、ということで樹高計とコンパスを用意。



最後まで学んだ参加者には手のひらサイズの切り株を進呈。もし不足したらバードコールを出す。(タッパはひとつ 200 円かかるし「費用なし」とアナウンスしていたのであまり出したくはない)

17 日(土)

出展場所は工作教室や飲食物コーナーのある建物と建物の間のテントでした。したがって、人通りはあるのですが、他の工作や体験の予約に忙しい親子連れは素通りしていきます。こちらの慣れないこともあって、結局さかんに声をかけたり、もらえるものでつってみたりして、時間設定などはうやむやになってしまいました。こどもたちは幼児から小学校 5 年生くらいまでということもあり、なかなか樹高計にまでも至らず、コンパスはこわさないうちに早々片付けました。

18 日(日)

前日の反省から、各回の時間を守って予約してもらうようにしました。ひととおり体験すればバードコールがもらえるとあって、落ち着いて切り株や年輪を観察することで木の持つ物語をじっくりと感じてもらい、樹高計もほとんどが体験しました。こどもより感動していただいた保護者もあって、前日より進歩した感がありました。私たち自身も、合い間に他の出展ブースを見学したり、木や器具やロープワークの復習をするなり、余裕が持てました。



私個人的には、主体的に関わる気持ちが足りずに他のメンバーにご迷惑をおかけしたこと、手間とお金のかかっているバードコールを易々と配ってしまったこと、それくらいにいろいろ配慮が足りなかったことが反省点です。

疑念にたえない部分は、Mie こどもエコフェアの開催目的＝「三重県内のこども達が楽しみながら

環境について学ぶ場を設けることで、こども達の環境への『興味』や『気づき』の機会を提供し、さらにそれを『知識』や『実践』へと発展させることを目的とします。」を、消化できてないことです。

こういったイベントで、「興味」や「気づき」を促すことができ、「知識」や「実践」にまで発展させていくには、どうしたらいいのでしょうか？

・・・などとぼやきつつ、10月2日の「三重の森林づくりと木づかいフェア」に。復習がてら、同じ切り株を持って行ってこようと思っています。

ー以上ー